

やっしろ

第66号
令和4年
2月1日発行

令和3年12月定例会 **市議会だより**



- ▲各大臣、大臣政務官による坂本町の視察に国・県及び市執行部、市議会に対応しました。
- ・ R3.12.18 金子 恭之 総務大臣（中央） ・ R3.11.27 斉藤 鉄夫 国土交通大臣（右上）
 - ・ R3.11.29 加藤 鮎子 国土交通大臣政務官（右下）

令和3年12月定例会会期日程

11月29日(月)	本会議／開会
12月 7日(火)	本会議／質疑・一般質問
9日(木)	
13日(月)	令和2年7月豪雨に関する 特別委員会
14日(火)	経済企業委員会 文教福祉委員会
15日(水)	建設環境委員会 総務委員会
17日(金)	本会議／討論・採決

目次

● 予算／条例制定・改正	2～3
● 質疑・一般質問	4～8
● 委員長報告	9～10
● 採決結果	11
● 編集後記	12

編集・文責／八代市議会広報委員会

12月定例会は、令和3年11月29日から12月17日まで開催され、条例議案6件、予算議案12件、決算議案10件、人事議案3件、その他15件を審議しました。
主な議案は、次のとおりです。

条例制定・改正など

(主なものを抜粋して掲載)

可決

八代市国民健康保険税条例の一部改正について (出産育児一時金関連)

出産育児一時金の支給額の見直しに関する「健康保険法施行令等の一部を改正する政令」の公布を踏まえて発出された厚生労働省保険局長通知を受けて、出産育児一時金の額について所要の改正を行うもの。(令和4年1月1日施行)

◆改正内容

産科医療補償制度の見直しによる当該制度の掛金の引下げ(1万6千円 → 1万2千円)により出産育児一時金の加算の額を同額に引き下げることに伴い、当該引き下げる出産育児一時金の加算の額と出産育児一時金の額の支給総額について、現行の42万円を維持するため、出産育児一時金の額を引き上げる改正(40万4千円 → 40万8千円)を行う。

財産の取得について

予定価格2,000万円以上の動産の買入に係る契約の締結について、八代市有財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるもの。

◆取得する財産：八代市小・中・支援学校ICT機器類(タブレット端末類、モニター類、無線機(アクセスポイント))

◆取得予定価格：7,844万5,400円

◆相手方：株式会社レイメイ藤井八代営業所

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員(任期3年)のうち、3人が令和4年3月31日に任期満了となることから、法務大臣に委員候補者を推薦することについて人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるもの。

- ・山内 郁子氏(再任)
- ・山中 美紀代氏(再任)
- ・小藪 裕子氏(再任)

予算

令和3年度12月補正予算

一般会計

30億1,930万円

特別会計

3,176万5千円

可決

(主なものを抜粋して掲載)

河川施設災害復旧事業

5,200万円

令和3年8月11日から8月18日にかけての大雨により被災した東陽地区の座連川、及び泉地区の栗木川の災害復旧工事に係る経費を補正するもの。

◆座連川災害復旧工事：2,200万円

◆栗木川災害復旧工事：3,000万円

災害公営住宅整備事業(豪雨災害)

7,417万7千円

住宅の自力再建が難しいと考える被災者のための、災害公営住宅建設に伴う、用地取得費及び測量・設計委託に係る経費を補正するもの。

◆不動産鑑定評価手数料：19万8千円(合志野地区)

◆基本実施設計・測量委託：5,800万円

(中津道・藤本・合志野地区)

◆用地取得費：1,597万9千円

(合志野地区)

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 19億3,302万6千円

国の新たな経済対策において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する取り組みの一つとして、18歳までの子どもを養育する者に対して、給付金を支給するために必要な経費を補正するもの。

◆支給額：対象の子ども1人当たり一括10万円

◆支給対象者：以下の支給対象の子どもを養育する者

①令和3年9月分の児童手当の支給対象児童

②令和3年9月30日時点で高校生世代の子ども

・平成15年4月2日～平成18年4月1日生まれ

・保護者の所得が児童手当支給対象となる金額と同等未満の者

③令和3年10月から令和4年3月31日までに出生した児童手当の支給対象児童

【補正額の内訳】

◆事業費：302万6千円

・通信運搬費（郵便料）：184万9千円

・口座振込手数料：117万7千円

◆給付費：19億3,000万円

・支給対象の子ども：19,300名



新型コロナウイルスワクチン接種事業 2億1,303万3千円

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目）を実施するために必要な経費を補正するもの。

◆対象者：2回目接種後から8カ月以上経過した者

◆個別接種費用：1億854万4千円

◆集団接種費用：6,793万8千円

◆システム改修委託：161万5千円

※マイナンバー制度・情報連携に係るシステム改修

◆共通経費：3,493万6千円

※被接種者送迎業務委託費の500万円は補助対象外

林道施設災害復旧事業（豪雨災害） 1億4,500万円

令和2年7月豪雨で被災した林道施設の詳細設計により、林道坂本山江線等3路線の工法や残土運搬の変更等が判明したため、不足分の災害復旧経費を補正するもの。

◆災害復旧工事費

（決算見込額） 6億989万7千円

（当初予算額） 4億6,489万7千円

（不足額） 1億4,500万円



新型コロナウイルス感染症対策事業（安心なまちやつしろ推進） 1億3,100万円

市内飲食店等における、安心な飲食店等の環境づくりを推進するため、熊本県感染防止対策認証店（申請中の店舗含む）に対して、本市独自の更なる予防対策支援を行うもの。

◆補助額：1億3,100万円（支援金1億2,000万円、事務費1,100万円）

◆実施主体：安心なまちづくりプロジェクト（事務局：八代商工会議所）

◆対象店舗：市内の飲食店等約670店舗 ※熊本県感染防止対策認証店（申請中の店舗を含む）

◆申請期間：令和4年1月上旬～令和4年2月末

◆支援金額：下記表のとおり

令和元年分の売上高	1,000万円未満	1,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上
支援金額	14万円	28万円	70万円

質 疑

一 般 質 問

議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、令和3年12月7日から3日間、12人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

令和3年12月定例会 質疑・一般質問一覧（通告順）

大倉 裕一 議員 (改革市民の会)	1 原油価格高騰による影響の認識及び支援策について 2 黄化葉巻病の現状に対する認識及び対策強化について 3 米価の低迷に対する認識及び支援策について 4 中期財政計画の見直し及び当初予算編成方針について
堀口 晃 議員 (保守系無所属)	1 新庁舎建設について 2 本市の景気回復及び経済対策について
堀 徹男 議員 (誠実)	1 本市における観光資源の整備について 2 くまモンポート八代の現状及び活用について 3 ふるさと納税について
木村 博幸 議員 (自由民主党 和)	1 八代・天草シーライン早期着工の推進について 2 スマートシティやつしろの推進について 3 本市における国際化の取組について 4 S D G s の理念に沿った地方創生の推進について 5 やつしろ物流拠点構想を見据えた八代港の利活用について
山本 敬晃 議員 (改革市民の会)	1 本市独自の子育て支援策について 2 ICT教育日本一に向けた本市の教育現場への支援について 3 本市の疾病予防事業及び健康保持増進事業について 4 都市計画道路西片西宮線整備事業について 5 中学生議会の取組について
野崎 伸也 議員 (改革市民の会)	1 本市の避難所の充実度について 2 大蔵蔵島の樹木伐採について 3 防災拠点である新庁舎が市民に提供する機能について 4 副市長が目指す八代市について 5 職員派遣・人事交流制度について 6 県北に集中する企業誘致に対する市長の考えについて
橋本 隆一 議員 (公明党)	1 八代市障がい者サポーター制度について 2 八代市成年後見支援センターの取組について 3 小中学校等における畳表の活用について 4 八代市厚生会館の現状及び課題について
橋本徳一郎 議員 (日本共産党)	1 令和2年7月豪雨災害に係る復興まちづくり計画及び球磨川流域治水対策について 2 八代市厚生会館の在り方及び利活用について 3 小中学校等の施設及び設備の整備計画について
中山諭扶哉 議員 (保守系無所属)	1 日奈久地域の水道インフラについて 2 本市における観光振興について 3 日奈久港の整備及び活用について 4 コミュニティセンターの運営方針について 5 G I G A スクール構想について
谷口 徹 議員 (改革市民の会)	1 本市における捕獲された有害鳥獣のジビエとしての利活用について 2 八代っ子クラブについて
谷川 登 議員 (自由民主党 絆)	1 稼げる林業・スマート林業施策の推進について 2 辺地総合整備計画について 3 ふれあいセンターいずみの道の駅認定に向けた取組状況について
古嶋 津義 議員 (自由民主党 和)	1 ふるさと納税について 2 本市における空き家対策の現状について 3 鳥類による冬場の農作物被害防止対策について 4 県営事業津口・芝口地区における排水機場の整備について



大倉 裕一



動画配信

◆黄化葉巻病の現状に対する認識及び対策強化について

問 本市の基幹産業である農業のうち、トマト生産において、生産量を高めるための重油代の高騰、農薬等資材の高騰、さらにはトマト価格の低迷とトマト生産者を取り巻く環境は極めて厳しいものとなっている。このような中、トマト黄化葉巻病の発生で生産者が肩を落としておられる。本年は、本市における黄化葉巻病の発生が多いと感じるが、市の認識を伺う。また、トマト黄化葉巻病の発症予防に対する資材購入の補助の考え並びに、発症防止対策の考え方を伺う。

答 農林水産部長

本市における黄化葉巻病の発生は高い傾向にあり、関係機関と調査した結果では、発生株率が五十%を超える圃場が確認された。また、苗の植え替えを余儀なくされた生産者もおられ、被害は深刻な状態であると認識している。被害対策の代表的な資材としては、防虫ネットや黄色粘着板等があり、防虫ネットについては、国や県の事業を活用しながら取組を進めていきたい。

黄色粘着板に対する支援を望む声があることも認識しているが、市としては、このような状況となった根本的な課題の解決策を関係機関等と検討し、それに基づいた取組に対して積極的に支援を行う。



堀口 晃



動画配信

◆新庁舎建設について

問 令和四年二月の完成を予定している新庁舎は、令和元年十一月の工事着工から丸二年が経過し建設が急ピッチで進められている。平成二十八年の「八代市新庁舎建設基本構想」では総事業費は百十二億円、延床面積が一万九千平方メートルとなっている。市民の皆様からの御意見を十分踏まえ、執行部で検討した結果のことと記憶している。現在総事業費は百七十一億三千万円、延床面積は二万七千平方メートルと総事業費と共に膨れ上がった理由について問う。

答 建設部長

基本構想で掲げたおおよその規模を基本とし、基本設計を進めたが、市民窓口アンケートなどでいただいた御意見をもとに、防災機能などをさらに充実し、市民の皆様が求める機能を十分に確保できるよう基本設計をまとめたところである。その結果、規模を増床し、事業費約百六十二億八千万円となったところである。

次に、令和元年九月に、八代市新庁舎建設工事の契約を締結し、工事に着工したところであるが、令和三年三月議会において、総事業費百七十一億三千万円と報告したが、その主な理由として、コロナウイルス感染症対策にかかる経費などと説明したところである。



堀 徹男



動画配信

◆本市における観光資源の整備について

問 日本製紙八代工場様の壁に描かれた妙見祭の壁画看板については、以前から劣化が進んでおり、重ねてここ数カ月であつという間に真っ黒になっている。本市を代表する伝統行事であり、またユネスコ無形文化遺産の宣伝媒体とはとても思えない。乗降客数は年々減少するものの、やはり八代駅は八代の玄関口であり、また看板を上げさせていただいている企業イメージも悪くなり申し訳ないところである。補修など現在の対応はどうなっているか伺う。

答 経済文化交流部長

この壁画は、当時の八代市妙見祭活性化協議会が事業主体となり、協力団体の日本製紙株式会社様と八代市が連携して事業着手し、平成二十四年十月に完成したものである。

その後、平成二十八年頃から赤く変色した状態となったことから日本製紙様や八代市、及び制作会社などと現地調査を行い、原因とその対応について検討を進めてきた。

令和三年に入り経年劣化が急激に進行し全体が黒く変色した状態となってきたため、看板設置当時に交わした覚書により、現在の八代市伝統文化活性化協議会と日本製紙株式会社様、八代市の三者で対応の協議を開始したところである。



木村 博幸



動画配信

◆本市における国際化の取組について

問 近年、クルーズ船による外国人観光客の増加や農業・工業の産業分野における技能実習生の増加など、八代地域で多くの外国人を見るようになった。このような中、広報やつしろ十二月号に「世界とつながるまちを指して」というタイトルで五ペーじにわたり多文化共生社会について、特集が掲載されており、私もまさに取組むことだと感じた。そこで、在留外国人の方との共生を中心に八代を取り巻く国際化の現状と課題、及びその取組について伺う。

答 市長公室長

十一月末時点で二千五百六人の外国人市民が居住しており、十年前に比べ約三倍の増加。日本人市民と外国人市民が互いの文化や習慣を理解し、共に生活しやすいまちづくりに取り組むことが課題であり、解決に向け、生活情報ガイドブックやごみ分別表の多言語化、市庁舎への多言語通訳システム導入等の取組を進めている。

令和三年七月には市民や企業、民間団体等で構成する「やつしろ国際協会」を設立し、日本語教室や交流イベント等の取組を行っている。今後も日本人市民と外国人市民が共に安全で安心して暮らせる多文化共生社会の実現に向け取り組んでいく。



山本 敬晃



動画配信

◆本市独自の子育て支援策について

問 子育て世帯の負担を軽減するため、本市では様々な独自の子育て支援策を行っている。と承知している。第二期八代市人口ビジョンによると、本市の合計特殊出生率は一・七二であるが、市民の希望出生率は一・八八であり、合計特殊出生率を上回っている。子どもの数を増やすために必要な取組を聞いたアンケートでは、既婚者の女性は経済的負担の軽減を最も求めている。市長は、九月定例会で「出産祝い金制度」を創設すると述べているが、その概要を伺う。

答 市長

出産祝い金制度の創設については、九月定例会の所信表明で申し上げた基本政策の「未来を創る五つのビジョン」の一つである「次代を担う子供の育成と安心な暮らしの創生」を進めるための具休策として掲げたものである。

この制度の創設により、次代を担うお子様の誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに、人口が減少傾向にある中、八代で子どもを生み育てたい方を増やすことで、移住や定住が促進され、人口減少に歯止めをかけたいと考えている。現在、この制度の実施に向けて検討を行っており、決まり次第、改めて示したい。



野崎 伸也



動画配信

◆大鼠蔵島の樹木伐採について

問 金剛校区の方から、大鼠蔵山の樹木が鬱蒼と茂り、住居の屋根に覆いかぶさってくる状況となったことから、本市に相談したところ「自分で伐採してください。」と言われたとのこと。また、住民の方からは、津波や豪雨の際、大鼠蔵山は高台でもあり避難したい場所だが、樹木が茂りすぎて登ってもいけないとの御意見を伺った。そこで、まず大鼠蔵山は避難場所なのかどうか、また覆い茂った樹木の伐採について、なぜ本市が対応できないのかについて伺う。

答 経済文化交流部長

大鼠蔵古墳群が所在する大鼠蔵山は、本市の避難場所に指定されていない。また、大鼠蔵山には四世紀から六世紀にかけての古墳時代の八代の様子を知る上で重要な古墳が点在しており、大鼠蔵山一帯が、昭和三十八年に熊本県指定史跡「大鼠蔵古墳群」に指定されている。

大鼠蔵山は個人所有であり、樹木を伐採する場合は、文化財の所有者により熊本県文化財保護条例等に基づく手続を行う必要がある。

文化財の環境整備のため樹木等を伐採する場合は、市の文化財保存整備補助金を活用できるので、所有者に対して熊本県指定史跡の適切な維持管理を促したい。



橋本 隆一



動画配信

◆八代市厚生会館の現状及び課題について

問 令和三年四月二十八日付の本市ホームページ及び広報やつしろ五月号に八代市厚生会館は、老朽化や劣化が進んでいるなどの様々な問題が生じており、ホールとしても再開はしないとの主旨の掲載がなされた。本会館を利用してきた各種団体や市民の方からホール機能の停止に至った経緯などについて詳しく知りたいとのことお尋ねが多くあっている。そこで八代市厚生会館の現状及び課題について問う。

答 経済文化交流部長

厚生会館は、でんでん館建設工事期間を利用し必要な改修を行い再開予定であったが、改修を検討する中で様々な問題が指摘され、建物寿命を考慮した上で今後の方針を検討するため、改修費用を明らかにすべく劣化度調査を実施した。

さらに、文化ホール等あり方検討会を設置し、各ホールの役割や将来的な方向性などを示した報告書が提出され、また市民アンケート調査結果等も踏まえ慎重に検討した結果、ホール機能の停止を含む今後の方針を決定した。

今後は、ホール機能停止に対する市民の理解を得ながら、市民が集える施設としての利活用を考えていく。



橋本 徳一郎



動画配信

◆八代市厚生会館の在り方及び利活用について

問 文化ホール等あり方検討会の報告は、従前の公共施設ファシリティマネジメントに従った結論と受け止められる。当該施設は、モダン・ムーブメントに関わる建物と環境形成の記録調査及び保存のための国際組織docomomoに記録保存に値する建築物と認定された。後世のための保存及び優れた建築思想や音響設計等の学術的価値を生かした利活用を求める。当該報告では古い施設は利活用しないと読めるが、この結論に至った経緯及び今後の運用について問う。

答 経済文化交流部長

厚生会館は、施設の老朽化等による様々な問題が指摘され、劣化度調査を実施したところ多額の改修費用の必要性が明らかになった。また、文化ホール等あり方検討会より「今後市民が集える施設としての利活用を期待するものの、様々な課題が残ることから、慎重に検討を行い方針を示してほしい」旨の報告があり、慎重に審議した結果、「ホール（劇場）」としては再開しないが、大規模改修を必要としないスペースの活用可能性・方策について検討を行う。等の方針を決定した。今後、ホール部分以外について、市民が集える施設としての利活用を検討する。



中山 諭扶哉



動画配信

◆日奈久地域の水道インフラについて

問 平成二十八年の熊本地震後、当該地域の上水道はダメージを受けていると考えられる。以前、配水池の耐震診断調査を行うと報告があったが、その診断結果を伺う。また、その結果、耐震性が低いとされた場合、断水や漏水が予想され、市民生活に甚大な被害、影響が発生することとなる。重要なインフラである上水道について、現在どのような取組が行われているか、また今後の計画について伺う。

答 水道局長

平成二十九年度に市内三か所の配水池について耐震診断を行った結果、日奈久配水池は耐震性が低く補強を検討する必要があるとの結果であったため、日奈久配水池を最優先に対策を講じることとした。

現在の配水池設置箇所は急傾斜危険箇所があり、敷地も狹隘で補強工事を行うスペースの確保が困難である。さらに稼働から五十三年が経過していることから、新たな配水池を設置するほうが適切であると判断し、現在候補地の選定や各種調査を進めている。建設用地が決まり次第、新たな配水池設置に向けた実施設計等を行い、令和七年度までの竣工を目指している。



谷口 徹



動画配信

◆八代っ子クラブについて

問 平成三十一年度に小学校の部活動は社会体育へと完全移行。指導者の確保など地域における支援が課題で、条例制定による総合的なスポーツ振興策も必要だと考える。現在、八代っ子クラブとして児童のスポーツ活動の運営がなされているが、教育委員会における、同クラブへの支援や八代っ子クラブ連絡協議会との連携について伺う。また、中学校の部活動が社会体育へと移行していない理由と、その指導体制等について問う。

答 教育部長

八代っ子クラブで使用する各小学校の体育施設等は、社会体育移行後も、優先的に使用できるようにし、使用料についても減免措置を行っている。

連絡協議会には、教育委員会からも担当者が参加し、情報の提供を随時行うなど、お互いに情報の共有ができる体制を整えている。

中学校における部活動については、学習指導要領に「学校教育の一環として、教育課程との連携が図られるように留意すること」と明記されており、教育活動の一環として運営されている。指導は教職員が担当し学校によつては、各学校長が外部指導者を委嘱し、教職員と共に指導を行っている。



谷川 登



動画配信

◆ふれあいセンターいずみの道の駅認定に向けた取組状況について

問 ふれあいセンターいずみは、平成九年四月に設置され、農産加工物の販売や四季折々の旬な食材を使用したレストランに加え、観光インフォメーション機能を有した観光物産施設である。さらに、地域振興や地域の活性化に大変寄与しており、重要な役割を果たしている。本施設の道の駅認定に当たっては、施設整備が必要であり、令和三年度当初予算に、道の駅認定に向けた基本設計経費が計上されている。そこで、道の駅認定に向けた取組状況について伺う。

答 経済文化交流部長

八代市ふれあいセンターいずみは、道の駅登録に向けた調査研究を平成三十年度から開始しているところである。今年度は、六月に熊本県との協議を開始し、九月には国との協議も実施して、整備要件のほか登録に必要な条件等についても確認を行った。

これらの協議結果を踏まえ、令和三年十一月に基本設計の発注を終え、駐車場等の数量算定作業に着手したところである。目標としては、令和四年度に実施設計を行いながら登録申請の準備を進め、令和五年度に必要な改修工事を行うとともに国へ登録申請書を提出し、令和六年度の開駅を目指していく予定である。



古嶋 津義



動画配信

◆県営事業津口・芝口地区における排水機場の整備について

問 令和三年度に新規採択され、同年から排水機場の実施設計に入った。総事業費が約五十六億四千万円。その内容は、まず、芝口排水機場が新設され、排水能力毎秒十八・三トン。次に、三番割排水機場は、既設機場のコンクリート躯体、建屋を再利用し、ポンプ施設等を更新、排水能力は、毎秒八トン。あわせて地区内水路、三番割排水路など幹線・支線の排水路整備は、整備延長約十五キロメートルと伺っている。そこで全体の整備計画と進捗状況について伺う。

答 農林水産部長

本地域は、低平干拓地で、湛水被害が発生していることから、令和三年度に、県営水利施設等保全高度化事業として採択された。

毎秒約十八トンの排水能力を持つ、芝口排水機場の新設や既存の三番割排水機場の更新等を行う計画である。令和三年度に、芝口排水機場の測量設計等を行い、令和五年度より、土木工事に着手し、令和九年度に完了予定である。

また、令和八年度より、三番割排水機場に着手し、令和十二年度には、全ての整備が完了する計画である。事業完了まで、三番割排水機場の延命に努め、湛水被害の防止や、国・県に予算の確保を強く要望していく。

委員長報告

令和2年7月豪雨に関する特別委員会

付託されました予算案一件及び事件一件については次のとおりです。

・議案第百三十二号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第八号（関係分）

の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に

・議案第百五十九号・八代市坂本支所庁舎等解体工事に係る契約の締結について

の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

経済企業委員会

付託されました予算案四件及び事件五件については次のとおりです。

・議案第百三十二号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第八号（関係分）

・議案第百三十九号・令和三年度八代市水道事業会計補正予算・第一号

・議案第百四十号・令和三年度八代市簡易水道事業会計補正予算・第一号
・議案第百五十八号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第九号（関係分）

の四件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に

・議案第百四十五号・八代高等職業訓練校に係る指定管理者の指定について

・議案第百四十六号・八代市がらっぱ広場、八代市こいこい広場に係る指定管理者の指定について

・議案第百四十七号・八代市日奈久温泉センター、東湯に係る指定管理者の指定について

・議案第百四十八号・八代市産地形成促進施設東陽交流センター「せせらぎ」、八代市農林産物等直売施設「菜摘館」に係る指定管理者の指定について

・議案第百四十九号・八代市総合体育館、八代市テニスコート、八代市弓道場、八代市球技場、八代市民プール、八代市民球場、八代市立武道館、八代市相撲場に係る指定管理者の指定について

の五件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

の五件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。



文教福祉委員会

付託されました予算案六件、条例案三件及び事件二件については次のとおりです。

・議案第百三十二号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第八号（関係分）

・議案第百三十三号・令和三年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第一号

・議案第百三十四号・令和三年度八代市後期高齢者医療特別会計補正予算・第一号

・議案第百三十五号・令和三年度八代市介護保険特別会計補正予算・第一号

・議案第百三十八号・令和三年度八代市診療所特別会計補正予算・第一号

・議案第百五十五号・八代市国民健康保険条例の一部改正について

・議案第百五十六号・八代市国民健康保険税条例の一部改正について

・議案第百五十七号・八代市教育サポートセンター条例の一部改正について

・議案第百五十八号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第九号（関係分）

の九件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に

・議案第百四十四号・八代市泉地域福祉センター、八代市泉憩いの家、八代市五家荘デイサービスセンター、八代市柿迫生きがいセンターに係る

指定管理者の指定について

・議案第百六十号・八代市小・中・支援学校―CT機器類（タブレット端末機、モニター類、無線機（アクセスポイント））に係る財産の取得について

の二件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

建設環境委員会

付託されました予算案四件、条例案一件及び事件二件については次のとおりです。

・議案第百三十二号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第八号（関係分）

・議案第百三十六号・令和三年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算・第一号

・議案第百四十一号・令和三年度八代市下水道事業会計補正予算・第一号

・議案第百五十三号・八代市手数料条例の一部改正について

・議案第百五十四号・八代市下水道条例の一部改正について

・議案第百五十八号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第九号（関係分）

の六件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に、

・議案第百五十号・市道路線の廃止について

・議案第百五十一号・市道路線の認定について

の二件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

総務委員会

付託されました予算案三件、条例案一件及び事件二件については次のとおりです。

・議案第百三十二号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第八号（関係分）

・議案第百三十七号・令和三年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算・第一号

・議案第百五十二号・八代市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について

・議案第百五十八号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第九号（関係分）

の四件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に、

・議案第百四十二号・八代市新庁舎建設工事に係る契約の変更について

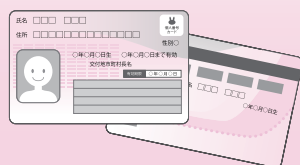
・議案第百四十三号・八代市有線テレビジョン放送施設等に係る指定管理者の指定について

の二件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

意見書

◎令和3年12月議会において、意見書3件が提出され、原案のとおり可決されました。

- ◆原油等価格高騰対策に関する意見書
- ◆マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進等を求める意見書
- ◆国土強靱化対策の予算の確保を求める意見書



令和3年12月定例会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

議案番号	議 案 名
議案第117号	令和2年度八代市一般会計歳入歳出決算
議案第118号	令和2年度八代市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
議案第119号	令和2年度八代市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
議案第120号	令和2年度八代市介護保険特別会計歳入歳出決算
議案第121号	令和2年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算
議案第122号	令和2年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計歳入歳出決算
議案第123号	令和2年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算
議案第124号	令和2年度八代市診療所特別会計歳入歳出決算
議案第125号	令和2年度八代市久連子財産区特別会計歳入歳出決算
議案第126号	令和2年度八代市椎原財産区特別会計歳入歳出決算
議案第132号	令和3年度八代市一般会計補正予算・第8号
議案第133号	令和3年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第1号
議案第134号	令和3年度八代市後期高齢者医療特別会計補正予算・第1号
議案第135号	令和3年度八代市介護保険特別会計補正予算・第1号
議案第136号	令和3年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算・第1号
議案第137号	令和3年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算・第1号
議案第138号	令和3年度八代市診療所特別会計補正予算・第1号
議案第139号	令和3年度八代市水道事業会計補正予算・第1号
議案第140号	令和3年度八代市簡易水道事業会計補正予算・第1号
議案第141号	令和3年度八代市下水道事業会計補正予算・第1号
議案第142号	契約の変更について（八代市新庁舎建設工事）
議案第143号	指定管理者の指定について（八代市有線テレビジョン放送施設等）

議案番号	議 案 名
議案第144号	指定管理者の指定について（八代市泉地域福祉センター、八代市泉憩いの家、八代市五家荘デイサービスセンター、八代市柿迫生きがいセンター）
議案第145号	指定管理者の指定について（八代高等職業訓練校）
議案第146号	指定管理者の指定について（八代市がらっぱ広場、八代市こいこい広場）
議案第147号	指定管理者の指定について（八代市日奈久温泉センター、東湯）
議案第148号	指定管理者の指定について（八代市産地形成促進施設東陽交流センター「せせらぎ」、八代市農林産物等直売施設「菜摘館」）
議案第149号	指定管理者の指定について（八代市総合体育館、八代市テニスコート、八代市弓道場、八代市球技場、八代市民プール、八代市民球場、八代市立武道館、八代市相撲場）
議案第150号	市道路線の廃止について
議案第151号	市道路線の認定について
議案第152号	八代市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について
議案第153号	八代市手数料条例の一部改正について
議案第154号	八代市下水道条例の一部改正について
議案第155号	八代市国民健康保険条例の一部改正について
議案第156号	八代市国民健康保険税条例の一部改正について
議案第157号	八代市教育サポートセンター条例の一部改正について
議案第158号	令和3年度八代市一般会計補正予算・第9号
議案第159号	契約の締結について（八代市坂本支所庁舎等解体工事）
議案第160号	財産の取得について（八代市小・中・支援学校ICT機器類（タブレット端末機、モニター類、無線機（アクセスポイント））
議案第161号	令和3年度八代市一般会計補正予算・第10号
議案第162号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第163号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第164号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議案第7号	原油等価格高騰対策に関する意見書案

〔賛成多数により可決した議案〕

議案番号	議 案 名	成松由紀夫	村川清則	田方芳信	増田一喜	橋本貴喜	友枝和也	百田隆	上村哲三	木村博幸	前川祥子	橋本幸一	金子昌平	高山正夫	古嶋津義	北園武広	谷川登	中村和美	堀徹男	橋本隆一	太田広則	橋本徳一郎	中山諭扶哉	堀口幸廣	山本敬晃	山本徹	谷口伸也	野崎裕一	大倉
発議案第8号	マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進等を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○
発議案第9号	国土強靱化対策の予算の確保を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

○＝賛成 ×＝反対 －＝議長及び欠席者 除＝除斥（規定により採決に加われない） ※成松 由紀夫議員は議長のため採決には加わっておりません

本会議・常任委員会 LIVE中継(生中継)

視聴をご希望の方は、
市議会のホームページ

<http://www.city.yatsushiro.lg.jp/gikai/default.html> 内の

「インターネット議会中継」

及び

「中継ライブラリ」を
ご覧ください。

また、本紙面から、各議員の
顔写真の下にある2次元コード
(QRコード)をスマートフォン
やタブレット端末で読み取る
と、その議員の質疑・一般質問
の動画を簡単に見ることができます。

※視聴にかかるデータ通信料等は、ご本人の負担となります。

※録画映像の配信内容は、八代市議会の公式記録ではありません。

※市議会の日程等についても、市議会のホームページで確認できます。

市議会に タブレット端末導入!!



▲研修会の様子（鏡支所3階大会議室）

令和3年11月8日及び12日の2日間、全議員を対象としたタブレット端末研修会を開催しました。

研修会では、各議員に1台ずつタブレット端末を配付。タブレット端末の基本的な使い方から議案書等資料の閲覧方法、さらには、諸連絡等で使用するメールの受信や送信の方法に至るまで、実機を使用したシュミレーションを行い、参加した各議員は、質問等を交えながら熱心に受講しました。

八代市議会では、議会運営におけるペーパーレス化及び効率化を目的に、令和3年12月定例会よりタブレット端末を導入した議会運営を行っています。今後もタブレット端末を活用したICT化を進め、DX時代を見据えた「スマート市議会」を目指してまいります。

編集後記

新年を迎え、早い

もので一カ月が過ぎ、立春を迎える時期となりましたが、寒い日が続いております。お身体には十分御留意下さい。

さて、令和元年十一月より工事着工されています新庁舎も、今月の完成が予定されています。新庁舎での業務開始を二月十四日（予定日）からとし、ワンストップ機能を充実させることで市民の利便性向上を図り、満足していただける行政サービスを目指し職員一同と共に、新庁舎で市民の皆様方を、笑顔でお迎えできることを心待ちにしております。また、二〇二二年が市民の皆様方にとりまして、最良の年でありますことを祈念申し上げます。

八代市議会広報委員会



◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.lg.jp/>